

## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道402号 <small>にいがたかいがひ</small> 新潟海岸バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	新潟市
起終点	新潟県新潟市西区五十嵐三の町(起点)～新潟県新潟市西区有明(終点)			延長	9.0km	
事業概要						
一般国道402号は、新潟県柏崎市を起点とし新潟県新潟市に至る日本海沿岸の幹線道路である。新潟海岸バイパスは、幅員狭小の現道の交通混雑の解消と、新潟中心市街地へのアクセスの改善を図るとともに災害発生時の緊急輸送道路として位置づけられている道路である。						
昭和59年度事業化	昭和58年度都市計画決定	昭和59年度用地着手	昭和62年度工事着手			
全体事業費	127億円	事業進捗率	93%	供用済延長	5.5km	
計画交通量	11,200台/日					
費用便益比	B/C	総費用	(残事業)/事業全体	総便益	(残事業)/事業全体	基準年
	(事業全体)	12/207 億円		235/623 億円		平成20年
	3.0	事業費：8.0/196 億円		走行時間短縮便益：197/539 億円		
	(残事業)	維持管理費：4.2/ 11 億円		走行費用減少便益：21/ 52 億円		
	19.2			交通事故減少便益：17/ 32 億円		
感度分析の結果						
交通量変動：B/C=21.2(交通量+10%) B/C=17.3(交通量-10%)						
事業費変動：B/C=20.6(交通量+10%) B/C=18.0(交通量-10%)						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する）</li> <li>・災害への備え（対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり） 他10項目に該当</li> </ul>						
関係する地方公共団体等の意見						
特になし						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回新潟都市圏パーソントリップ調査において幹線道路として位置づけられている。</li> <li>・昭和63年度から随時部分供用を行い、現在は5.5km供用済み。</li> <li>・平成19年4月1日新潟市政令市移行に伴い事業主体変更(新潟県→新潟市)。</li> </ul>						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地買収は概ね終了し、5.5kmを供用している。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
現在は残事業区間の用地は概ね取得済みであり、新川に架かる橋梁部と取付道路の工事を推進しており、平成20年代中頃の事業完了を目指す。						
施設の構造や工法の変更等						
特になし						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由						
本事業は現道部の幅員狭小、交通混雑の解消を図るとともに防災上重要な事業である。このような事業の必要性や事業の進捗の見込みの視点から、継続が妥当であると判断した。						
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。